

田原市議会

道路整備推進特別委員会報告書

調査研究事項	広域幹線道路、市内幹線道路の整備について
--------	----------------------

平成25年3月25日

道路整備推進特別委員会

委員長 赤尾 昌昭

副委員長 太田由紀夫

委員 北野谷一樹

委員 藤井 敏久

委員 河合 喜嗣

委員 長神 隆士

委員 仲谷 政弘

委員 大竹 正章

委員 小川 貴夫



## 目 次

1	はじめに	……	1
2	活動の経過	……	1
3	現状及び今後の道路整備の状況	……	1
	(1) 東三河及びその周辺地域における高速道路網		
	(2) 国道23号バイパス・東三河縦貫軸		
	(3) 市内幹線道路		
	(4) 伊勢湾口道路		
4	今後の道路整備の考え方	……	3
	(1) 今後の広域幹線道路整備		
	(2) 幹線道路等の整備に向けての広域連携		
	(3) 市内幹線道路の整備		
5	おわりに	……	4

### 参考資料

道路整備調査特別委員会活動経過

## 1 はじめに

道路整備推進特別委員会は、平成23年6月24日の第2回定例会本会議において委員9人で設置された。本委員会に付託された広域幹線道路、市内幹線道路の整備等について、その調査研究の結果を報告する。

道路は、人が生活していく上において、最も重要な社会基盤の一つであり、人や物を運ぶ働き、まちをつくる働き、道路空間を利用した防災空間等の働きを持っている。

また、道路は地域の産業や暮らしを支える重要な役割を果たしており、こうした点からも道路整備は自治体の重要な課題となっている。

本市においても、国道、県道、幹線市道等の整備を進め、都市機能としての効率的な道路ネットワークの形成に努めている。

さて、広域幹線道路の整備に関しては、田原市は、気候・風土に恵まれ全国一の農業を誇るとともに、臨海部はトヨタ自動車を始めとする企業に支えられており、隣接する明海地区と合わせて全国有数の製造品出荷額を上げるなど、躍進する愛知県の製造業の一翼を担う地域となっているが、産業を支える道路のインフラは未だに十分な整備がされているとは言えず、現実には朝夕の慢性的な渋滞が発生している。これらは、地域産業の一層の発展や臨海工業用地への企業誘致に大きな影響を及ぼし、深刻な状況となっているが、幹線道路整備への国からの支援は、政策転換もあり、あまり望めない状況にある。しかし、整備を求める要望は続けられており、我々も道路整備についての現状把握、今後の道路整備の考え方について、調査研究を行った。

また、市内幹線道路については、市民生活の利便性を高めるためにも、交通安全対策も含め、市内の各拠点を結ぶ市内幹線道路網の整備が必要である。

## 2 活動の経過

本委員会は、今後の道路整備の方策を探り、委員会での提言や論議の実効性を高めるための活動を行った。まず、本市を取り巻く道路事情について、副市長から本市が関係する幹線道路の進捗状況及び市内の国道・県道の整備状況についての説明を受けた。

また、東三河地域の広域的な連携の要となる幹線道路整備について、田原市、豊橋市の両市議会合同での勉強会を開催したほか、鳳来峡インターチェンジで三遠南信自動車道（三遠道路）の整備概要、浜松いなさ北インターチェンジで新東名高速道路（引佐連絡路・伊勢湾口道路起点）の整備概要について視察調査を行った。

（資料：道路整備推進特別委員会活動経過）

## 3 現状及び今後の道路整備の状況

道路整備事業においては、用地取得を始め、多額の事業費が必要であるため、昨今、国・県においては、道路整備事業も選択と集中・重点整備となっており、地域単独ではその推進もままならない状況となっており、財源確保をより一層図っていく必要がある。

### (1) 東三河及びその周辺地域における高速道路網

現在、東三河及びその周辺地域における高速道路網の整備については、新東名高速道路では、御殿場ジャンクションから三ヶ日ジャンクションまでが平成24年4月に開通し、浜松いなさジャンクションから豊田東ジャンクションまでは平成26年度開通を目標に整備が行われている。今後、田原市にとっては、整備が進む高速道路へのアクセスをどのように整備していくかが大きな課題となっており、高速道路ネットワークへ接続する浜松三ヶ日・豊橋道路（東名・三ヶ日ジャンクションから国道23号豊橋東バイパスまでの区間）の整備については、東三河南部地域（豊橋市、田原市）と浜名湖西地域（湖西市、浜松市）の県境を越えた連携強化が重要である。

### (2) 国道23号バイパス・東三河縦貫軸

国道23号バイパスのうち、東三河地域は、蒲郡バイパス、豊橋バイパス、豊橋東バイパスの3バイパスで構成されており、高速道路とのネットワーク化により、三河港及び東三河臨海工業地帯の発展に大きく寄与するものである。

整備状況としては、豊橋バイパスと豊橋東バイパスについては、細谷インターチェンジから潮見バイパスに接続する1区間を除いて暫定2車線で供用開始されている。蒲郡バイパスについては、蒲郡インターチェンジから岡崎バイパスまでの西部工区の工事が行われており、東部工区については、用地買収を進めている状況である。

その他、東名高速道路・豊川インターチェンジから三河港までの円滑なアクセスを確保するため、当面、主要交差点の立体化等の対策を早急に行うことを関係する豊橋市と連携を図りつつ要望活動をしている。

### (3) 市内幹線道路

市内に目を向けると、本市の地域拠点間を20分間で結ぶことを目標とする道路整備構想が出されており、江比間地区については、交通安全対策としての歩道整備が進められているが、国道259号バイパスとして、高木バイパスまでの区間の整備を要望している。

本市の都市計画道路は11路線あり、これまでに姫島港線、神戸蔵王線、加治赤石線、神戸赤石線、中央地区1号線の整備が完了している。ほかにも、田原駅南線は平成22年度に一部共用を開始し、田原駅前通り線のセントファーレから田原駅南立体駐車場西側の橋（一本橋）までの間が平成25年度中に完了予定となっている。

また、県道城下田原線（旧県道城下豊島線）の国道259号から中央公園までの間が平成24年11月に部分供用されたが、市内の東西・南北間の経済・地域間の交流にとって重要な路線であるので、吉胡地内の県道田原高松線までの事業延伸を要望している。

#### (4) 伊勢湾口道路

この地域にとっての最大のプロジェクトである伊勢湾口道路については、残念ながら、国土形成計画で海上部分に当たる伊勢湾架橋は、長期的視点から取り組むとされ、海峡プロジェクトとしての調査が終了するなど、国のプロジェクトとしての実施は難しい状況である。しかし、防災面からは「命の道」、観光面からは「海の道」と呼ばれており、重要な道路として位置付けられている。陸上部分については、道路ネットワークとしての整備の観点から真に必要な道路として位置付け、浜松三ヶ日・豊橋道路から田原市までの区間の整備を強く要望していく必要がある。

### 4 今後の道路整備の考え方

#### (1) 今後の広域幹線道路整備

本市の今後の発展のためには、臨海部や三河港の整備・充実と物流の根幹を支える高速道路にアクセスする広域幹線道路網の整備が急務である。

しかし、その整備について、本市の思いだけでは実現は難しいものがある。本市の望んでいる道路整備が、必ずしも他市にとってのメリットや必要性にはなっていないのが現実である。今後、お互いの利益をどのようにして調整し、乗り越えていくのが最大の課題である。

また、三河港は港を構成する4市だけでなく、広域都市圏の産業経済の基盤として機能しており、そのビジョンを共有しつつ一体となって道路整備に取り組むことが必要である。

伊勢湾口道路については、前述のように海上部分の架橋としての整備が難しい状況であるが、田原市や近隣地域にとって、様々な意味で大変重要であり、真に必要な道路であると言える。今後は、豊橋市・田原市の東三河南部地域と湖西市等の浜名湖西地域及び鳥羽市等の伊勢志摩地域との広域連携を進め、産業、観光面からのより深い交流によって道路の必要性を高め、整備に取り組むべきである。既に交流や連携によって伊勢湾口には、見えない橋が架かっている。これを見える橋とするため、じっくりと取り組む必要がある。

以上を踏まえ、本市にとって必要な道路整備を考えた場合、当面の重点整備としては、浜松三ヶ日豊橋道路の整備はもとより三河港までのアクセスを推進すべきである。

なお、今後の道路整備に向けては、①地域ビジョンの明確化とその実現を支援する道路網の在り方、②地域住民・地元企業等の合意形成づくり、③道路網整備のための関係地域の連携と組織づくりといった視点に立って進めていく必要がある。

## (2) 幹線道路等の整備に向けての広域連携

広域幹線道路等の整備には、今後とも関係市町村と連携を図りながら、地域・行政・産業界・商工団体・農業団体等で組織する東三河地域の道路整備推進組織も必要と思われる。東三河全体の組織ができれば、ビジョンの明確化と共有化が取りやすくなり、地域ごとの要望もその中に取り込んで、共通認識ができる。

東三河は一つという観点に立った大同団結する戦略と個々の地域戦略を組み合わせる手法・行動が必要であるが、国・県との呼吸が合わないこともあると思われ、国、県との定常的な協力体制を構築すべきである。

その組織づくりの一方で、各地域との交流についても、十分されているとは言えず、議会としても近隣4市の議会等と定期的に交流活動・勉強会等を行う必要性を感じている。市町村ごとの要望活動等も、本市が積極的な取り組み姿勢を示すのはもちろんであるが、さらに地域エゴに陥らない広域的な視点に立った活動も求められている。

今日の道路問題は、広域的な地域の総意の盛り上がりが必要であり、従来の行政・議会だけでは解決できないため、広域連携を常に念頭に置いて取り組む必要がある。

## (3) 市内道路等の整備

都市計画道路の整備促進についてであるが、計画路線等の現状をみると、議会として、適宜検証する必要があると思われる。

生活道路整備については、地区・校区単位での要望の受け入れ体制づくりは確立されてきているが、市全体での位置付けを図ることが重要である。

交通安全対策や交差点の改良等による整備は、道路の新設や拡幅に比べ、少額の費用で短期間に効率的かつ大きな効果を発揮することから、引き続き積極的に取り組んでいくべきである。

## 5 おわりに

道路は、地域と地域、人と人を結び、産業や生活文化を育て、新たな可能性を導き出すまちづくりの根幹となるものである。

本市においては、市制施行10年の節目を迎えるとともに、改定した総合計画のスタートの年であり、新たなまちづくりに向けた様々な取り組みが始まろうとしている。

本委員会の調査活動を踏まえ、本市の道路整備が一層の推進をされることを願い、また委員会終了後も議会として、引き続き調査・研究する必要があることを申し上げ報告とする。





# 参 考 资 料

## 道路整備推進特別委員会活動経過

回数	日時	協議事項等
第1回	平成23年6月24日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正副委員長の互選</li> <li>・閉会中の継続調査の決定について</li> </ul>
第2回	平成23年9月30日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な方針・進め方について</li> </ul>
第3回	平成23年11月2日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線道路の歴史について（新東名高速道路ほか）</li> </ul>
第4回	平成24年1月16日(月)	<p><b>【視察】</b></p> <p>三遠南信自動車道 三遠道路</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備概要、現地視察 （鳳来峡インターチェンジ - 浜松いなさ北インターチェンジ）</li> </ul> <p>新東名高速道路 引佐連絡路</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備概要、現地視察 （浜松いなさ北インターチェンジ - 奥山トンネル - 三ヶ日ジャンクション）</li> </ul>
第5回	平成24年1月26日(木)	<p><b>【勉強会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線道路整備に関する勉強会（豊橋市議会と合同実施）</li> </ul>
第6回	平成25年3月18日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終報告書のまとめについて</li> </ul>
第7回	平成25年3月22日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終報告書のまとめについて</li> </ul>

## 道路整備推進特別委員会行政視察記録

視察実施年月日	平成 24 年 1 月 16 日						
視察者人数	13 名	道路整備推進特別委員+議長	10 名	事務局	2 名	当局	1 名
視察先	三遠南信自動車道、新東名高速道路						
視察先①	訪問先	鳳来峡インターチェンジ～浜松いなさ北インターチェンジ					
	訪問日	平成 24 年 1 月 16 日 (月)					
	訪問時間	13:30 ～ 14:30					
	連絡先	国土交通省中部地方整備局 浜松河川国道事務所	電話番号	053-466-0111			
	視察内容	① 概要説明					
		② 現地視察					
備考							
視察先②	訪問先	浜松いなさ北インターチェンジ～三ヶ日ジャンクション					
	訪問日	平成 24 年 1 月 16 日 (月)					
	訪問時間	14:30～15:40					
	連絡先	中日本高速道路株式会社 東京支社浜松工事事務所	電話番号	053-455-0701			
	視察内容	① 概要説明					
		② 現地視察					
備考							

道路整備推進特別委員会の活動記録写真



平成24年1月16日(月)行政視察  
鳳来峡インターチェンジ  
三遠南信自動車道(三遠道路)を視察

平成24年1月16日(月)行政視察  
浜松いなさジャンクション  
新東名高速道路(引佐連絡路)を視察



平成24年1月26日(木)  
豊橋市議会第1委員会室  
幹線道路整備に関する勉強会を豊橋市議会と  
合同で開催

